

NPO・草の根活動

八尾市手話サークル どんぐり

八尾市手話サークルどんぐりは、1989年（平成元年）に発足し、今年で21年目になります。

昨年6月に20周年を迎えることができました。記念式典には田中誠太八尾市長もご出席していただき、ささやかではございましたが、無事記念式典を終えることができました。手話サークルどんぐりの活動は、毎週金曜日PM6:30～8:30まで、八尾市福祉会館で、（手話を覚える、ゲームをして遊ぶ）学習会を通じて障がいの方々と健聴者の交流を図り、手話の技術向上、手話の普及を目標に会員一同頑張っています。

現在会員は、約50名の方が登録され、各方面で活躍されています。昨年は、八尾市市制60周年記念のイベント、講演での手話通訳活動、府立高校での人権ホームルームでは、聞こえないということは、どのように大変か、聴覚障がい者の皆さんと学校で映画を観ていただいたり、教室でお話を聞いていただいたりして、障がい者に対しての理解を深めていただきました。

そのような活動が認められまして、2006年度（平成18年度）大阪府草の根人権活動奨励賞、また、2007年度（平成19年度）厚生労働大臣賞を受賞しました。会員は、学習部、レクリエーション部、機関誌部のどれかの部に在籍し、一人ひとりが責任を持ち、毎週の学習係担当、ボウリング大会、バス旅行、クリスマス会などの計画、実行、毎月の機関誌の発行、ホームページの管理など、会員一人ひとりが何らかの役割を持って、会を運営しています。また、八尾市聴言部の皆さん、関西ハイキングサークルの皆さんと協力し、交流の輪を広げ活動しています。これからも会員相互の親睦を図り、サークル活動を頑張っていきたいと思います。



字幕サークル「Gまあく」 (大阪市)

- 手塩にかけた大切な娘の結婚披露宴、ユーモアたっぷりな温かいスピーチに会場は笑いに包まれました。しかし耳の聞こえない母親は、精一杯の笑顔とは裏腹に、心の中は寂しさでいっぱいでした。「何を話されているか知りたい！」この切ない母の思いを知ったことが、要約筆記グループの有志が、聴覚障がい者のために、結婚式や披露宴のビデオに字幕を付ける活動を始めるきっかけになりました。

★グループの設立

- 1995年（平成7年）に活動がスタート、1998年（平成10年）に要約筆記のグループから、字幕サークル「Gまあく」に独立しました。

★メンバー構成

- 主婦が中心に30名

★活動の変遷

- 結婚式のビデオの字幕挿入から始めましたが、要望に添って、子どもさんの発表会などの個人的なビデオから、趣味のビデオ、プラネタリウムの字幕表示と活動を広げていきました。最近では、ビデオからDVDとニーズが変わってきて、DVDに字幕を挿入する活動に移ってきております。

- 1998年（平成10年）頃から、映画に字幕を付けて欲しいという上映主催者の要請があり、スクリーンに字幕を投影する活動を始めました。また、聴覚障がいの方の通信教育の教材のようなビデオや、DVD、CDなどのテープ起こしにも力を入れております。2007年（平成19年）に、映画のお好きな難聴者と「映画友の会」を立ち上げて、字幕付き上映会を開催したり、字幕付き映画の情報をFAXやメールで流す活動もしています。

★作品数

- ビデオ・DVDの作品約320作品、映画などの字幕表示約28作品

★活動場所

- データの作成や映像と字幕の合成などの作業は、各人自宅で行います。映像やデータはネットで会員同士やりとりしています。映画の場合は、当日、データとパソコンを上映会場に持ち込み、字幕投影に当たります。

★目指していること

- 聴覚障がい者の“楽しみ”に情報保障して手助けすること。

★受賞

- 「第30回産経市民の社会福祉賞」、2007年度（平成19年度）「大阪府草の根人権活動功労賞」地味な活動に目を向けてください、たいへん励みになりました。

★連絡先

- tel/fax 06-6994-3079 e-mail hukuda234@yahoo.co.jp

